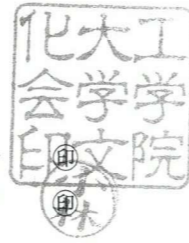


2023 年度 工学院大学文化会 方針

工学院大学文化会

2023 年度会長 小林 将己



1.存在意義

工学院大学文化会は、工学院大学の文化会所属の部員全員によって構成される団体であり、文化会役員は文化会所属の部活動から選挙によって選出される。本会は文化会に所属する部活動の円滑な活動のために存在している。文化会は学生団体の一機関としての役割も担っていることから、文化会の活動は他の委員会や大学当局とも協力して活動を行い、工学院大学の部活動をより円滑に行うことができるように努力する。

2.方針

工学院大学文化会の活動は年間を通じて文化会員の文化創造活動を高め、自治委員会の役員としての責務を果たすために行う。また、常に先を見据えて行動することでより円滑に活動出来るように心掛ける。平時の活動も然ることながら、八王子祭・新宿祭の成功に寄与する。

3.役員会

役員会は本部役員と各部長で構成される文化会の最高決議機関であり、文化会の問題点を指摘及び大学側への要望を討議する場である。

基本は役員のみ参加とし、部長陣には学期ごとに数回参加してもらう。部長陣を集める日程を集中させることで、参加率を上げ、一つ一つの会議を濃い内容のものにしていくように心掛ける。

4.活動内容

[連絡会議]

連絡会議は文化会に所属する部活動への連絡を担う場であると同時に、文化会の部活動相互の活動を認識するための場である。

昨年は、コロナの影響のためオンライン上で会議を実施した。このため、3年前の反省を生かし、連絡会議は本部・支部ともに不定期で開催し、必要な時に必要なだけ行う。また、不参加の文化会役員にも情報の共有を必ずしていくようにする。

[文化会総会]

文化会総会は文化会の最高協議機関であり、本年度予算、方針の承認を得る場である。同時に前年度の総括、決算報告の承認を得る場である。

昨年はコロナの影響もあったが実施することができた、そこで昨年度までの反省を生かしていく。例年の出席率の少なさを改善するため、今年度も日程の伝達を迅速に行う。また、委任状の回収が円滑に行われていなかったため、各部活の文化会役員にこまめに連絡を取り回収率を上げていく。各部活の文化会役員に委任状回収の責任を持たせ、円滑に回収を行えるようにする。

[文化会フェスティバル]

文化会フェスティバルは、新宿祭においてその活性化のため行う文化会が主催するイベントである。

昨年は新宿祭を実施することができた。そのため、引き継ぎをしっかりとし、昨年度までの反省を生かせるようにする。毎年恒例となっている声優トークショーを今年度も引き継ぎ、警備を強化させ、観客の安全性を保ち、観客の皆様楽しんでもらえるよう努めていく。

新宿祭は本部の役員が中心となって活動するが、来年度のためにも支部の役員にも仕事を割り振り、打ち合わせや情報共有をより濃く行う。

[野菜バーゲン]

野菜バーゲンは八王子祭で支部役員を中心として行う。この企画は日常ほとんど接する機会のない地元住民の方々に本学へ親しんでいただく事と学生の皆様に文化会という団体を認識して貰う事を目的とする。

コロナウィルスや台風の影響で三年間八王子祭が中止になっていたが、昨年度は野菜バーゲンを行うことができた。そこで、昨年の反省を活かして仕入れ量を増やし、足を運んで下さる方々により満足して頂けるよう取り組んでいく。

[激躍の作成]

激躍は各部活動や同好会の情報をまとめた会誌である。これは文化会 OB や本学の学長、学生支援課の方、各部の代表から寄稿していただき作成する。激躍は新入生に配布される封筒に同封されることから新入生に文化会という組織を身近に感じてもらう近道である。

以上を 2023 年度工学院大学文化会の方針とする。